



公益財団法人青少年野外活動総合センター

〒610-0121 京都府城陽市寺田南中芝80

tel 0774-53-3566 fax 53-8224

camp@yuai-no-oka.org <https://www.yuai-no-oka.com>



公益財団法人 青少年野外活動総合センターは

公益財団法人青少年野外活動総合センターは、野外活動を通じた青少年の健全育成を目的として、行政主導ではなく民間の有志が中心となって活動を始めました。そして1976(昭和46)年に財団法人として認可され、京都府城陽市に「友愛の丘本館・キャンプ場」を開設しました。

現在に至るまで、「自然体験」「なかま・共同生活体験」「自主あそび・チャレンジ体験」を通して、青少年の健全育成、なかでも、青少年の「自己発見・成長」を中心課題として、活動を展開しています。

野外において遊びながら、生活を共にしながら、自然を畏敬し、自然と親しみ、自ら考え行動する自主性を育み、社会における責任感を助長し、頭と身体を使いつつ友達と協力する、そんな体験を提供しています。

また活動を通じ、私たち人間を取り巻く環境の大切さを考えさせるとともに、趣味の発掘と拡大・健康の増進など、生涯学習に積極的に取り組むことを考える機会を提供しています。

なお2013(平成25)年に公益財団法人となり、新たなスタートを切りました。また2014年春からは「京都府立木津川運動公園 城陽五里五里の丘」の指定管理業務を開始しました。2019(平成31)年度からは「井手町野外活動センター 大正池グリーンパーク」の指定管理業務も始まりました。

友愛の丘へは

公益財団法人青少年野外活動総合センター「友愛の丘」は、京都府城陽市に位置します。「友愛の丘」へは、車では、京奈和自動車道城陽ICから約10分です。徒歩では、JR奈良線長池駅から約20分です。最寄り駅より「友愛の丘」までマイクロバス送迎もおこないます。近隣に京都府立太陽が丘運動公園、城陽市立鴻ノ巣運動公園（ログスランド）があり、城陽五里五里の丘とはほぼ隣接しています。

友愛の丘の概要

現在、最大150人程度の宿泊施設と、100人程度のキャンプ場をもち、野外バーベキュー施設、屋根付きバーベキュー場、プールなどを有し、バーベキューなら一度に400人、年間延べ約3万人の利用があります。

この種の施設は、公の補助金などが入っているところが多いですが、友愛の丘は独立採算で運営しています。

キャンプ場は、開拓から、水道の敷設、カマドや水場の設営、ファイヤー場の建設などまで、過去から現在までの数多くのキャンプカウンセラーと職員との手作業による結晶であり、この点でもユニークなサイトであると自負しております。





■友愛の丘本館・キャンプサイト バーベキューサイト

キャンプはもちろん、宿泊・合宿・研修・修学旅行などに幅広く利用いただいています。日帰りバーベキューは同時に300人まで可能です。ファミリーから職場レクリエーション、学校遠足などに幅広くご利用ください。施設提供だけでなく、様々なプログラム活動を青少年野外活動総合センターが提供しています。またその活動を援助、指導したりするほか、環境学習について場の提供と研修指導とができるよう努力しています。

■京都府立木津川運動公園

城陽五里五里の丘 上段の中央写真

友愛の丘に隣接する山砂利採取場跡地に2014(平成26)年に開園した「京都府立木津川運動公園」の指定管理者として管理運営に取り組んでいます。

本公園は、府民参画による、山砂利採取跡地の自然再生を主目的に設置されました。当法人は、今までの実績を活かして、青少年野外活動、指導者の養成、自然環境の保全育成、府民参画の公園づくりを行っています。

■大正池グリーンパーク (下写真)

2019(平成31)年4月より井手町野外活動センター大正池グリーンパークの直接の指定管理者として管理業務を開始しました。

大正池グリーンパークは井手町の東部山間部にある大正池を中心とした山林に展開し、大小のバンガロー5棟、キャンプ施設を営業しています。

親子を対象とした自然観察会やクラフト



教室、カヤックツアー体験などを開催しています。

■主催する子どもキャンプ事業

春夏秋冬の季節に応じた子どもキャンプを開催しています。主に小学校低学年児童を対象にして、季節の特徴を生かした一泊キャンプから、一週間程度の長期キャンプまでを行っています。また各地に遠征し、夏には海のキャンプ、山のキャンプ、川のキャンプがあり、冬にはスキースノーキャンプも実施しています。また指定管理施設を利用した活動も自主事業として展開しています。

なお遠征キャンプは旅行業法に基づく業者の企画を支援する形を採っています。



■子ども育成通年事業

年少児から中学生までを対象に、年間継続の自然体験活動クラブを開催しています。友愛の丘をホームグラウンドとしてちきゅうくらぶの2部門(幼児、小学生)が活動しています。また小学校高学年以上はバイオニアドベンチャークラブとしてより冒険的な活動を実施しています。

この他に、サタデーキッズクラブ(幼児から小学4年)をほぼ毎週土曜日に開催しています。



■友愛の丘キャンプカウンセラー 五里五里の丘プレイリーダー

設立当初より、友愛の丘を利用するキャンパーの援助と、キャンプ場の充実などを目的として、キャンプカウンセラーを育成してきました。キャンプカウンセラーは主として大学生ボランティアによって組織されています。育成されたキャンプカウンセラーは、友愛の丘を利用する青少年キャンパーの援助にとどまらず、友愛の丘における援助を終えた後、友愛の丘以外における野外活動の指導、障害児者の活動支援、友愛の丘主催キャンプや通年活動などの指導にもあたるようになり、野外活動について専門的に歩む者も輩出してきました。

年齢を超えた友愛の丘利用者の、自然体験活動の援助、環境学習の支援などキャンプカウンセラーの役割は、ますます重要になってきています。例年、近隣の大学生を初めとして、約50名のキャンプカウンセラーを育成し、野外教育者あるいは野外教育研究者などが育っています。

また城陽五里五里の丘でもキャンプカウンセラーと同じ目的のもと、大学生ボランティアによるプレイリーダーを育成し、活動を始めています。公園に来園する子どもたちに遊びの場を提供したり、様々なイベントの指導をしています。

■野外活動指導者育成事業

青少年野外活動指導者育成事業(京都府委託)を年間4事業実施しています。この他、定期的に勉強会を開催したり、厳冬期トレーニングを目的とした長期の「バイオニアキャンプ」などを開催したりするなど、青少年の野外活動を指導する人材の育成に寄与しています。

ごあいさつ 代表理事 田口博康

公益財団法人青少年野外活動総合センターは、設立から今年で49年になります。この間、私たちをとりまく情勢は大きく変化しましたが、青少年活動、青少年育成や、地球環境保全に対して私たちの果たすべき役割は、より大きなものとなっています。これまで、多くの方々の温かいご指導とご協力を戴いてまいりましたが、今後とも、青少年の健全な心身の育成に力を尽くしてまいります。引き続きご支援賜りますようよろしくお願い致します。

